

第 21 回「福島県男女共生のつどい in 田村」報告書

～変えよう、変わろう、変えなきゃ、今!!～

福島県国女振あいづ地区長

山崎捷子

とき：令和 4 年 10 月 23 日（日）

会場：田村市文化センター

会津若松市でバスが出ました（バス乗車 6 名、自家用車 2 名）

会場参加者は 150～200 人程度

1, **オープニング**、開会アトラクションは大越町鬼五郎幡五郎和太鼓で、猛々しく開催。

次に開会セレモニーがあり、実行委員長の勝山律子氏の挨拶。男女平等の精神を明確に文言に入れており、皆さんの意気込みを感じた。

2, **講演**大嶋啓介氏の「夢をもって、誰もが輝く男女共生社会」

メンタルトレーナーとして、子どもたちが「ワクワク」しながら成長していく事例を交え

①人間の脳内は各自パソコン 10 万台の容量があるので、それを本人がどう使うか「実行するか」「実行しないか」だけのことである。

自分の可能性は現在の自分より 3 万倍あるとの言葉に、場内はざわつく。

②人間は「思い込み」があり、それが現実となる。「自分で作っている。(セルフイメージ)」脳は欠点を見ようとするが、自分を信じる力を育て、いい所、可能なところだけを見る。

③言葉に脳が自動的に反応し、思い込むので、「否定的」な言葉は使わない。「無理・ダメ」と思ったら現実になる。思い込みが変われば、結果はかわる。人生が変わる

④ビデオ：年長の男児が 10 段の飛箱に挑戦し、何度も失敗して、最後に飛び越える。

(思わず涙が出た)

⑤限界を突破し、可能性を引き出す方法としてメンタルを変えること

「自分の可能性に気付いてあげる」「仲間の応援が可能性を拓ける」の話に納得。

3, **トークセッション** 4 人のパネリスト

・大嶋啓介氏：(株)てっぺん 代表取締役会長

今後コロナが収束してからは「覚悟」ではなく、「ワクワク」として願いや望みが叶う可能性を信じる。

・鈴木さゆり氏：たむら市民病院 看護部長

職場では男女の格差を感じない。勤務している病院では、男性看護師が全体の 7.8%。

「男性は理系が得意・女性はしなやかさが特徴」の発言に参加した私たちのグループはそれこそ思い込み（ジェンダーバイアス）であることを確認していた。

・渡邊輝長氏：(株)エクストエンジニア 取締役専務

ベトナムに工場がある。ダイバーシティベトナムで多様性を大切にしている。

「女性の娯楽が少ない」の意見になぜそうになっているのか男性だけの娯楽とは？

菅野千恵子氏：田村市地域おこし協力隊

ファシリテーター：遠藤栄一（実行委員）

2022 年度のジェンダー指数日本：116 位／146 位

4, 大会宣言後閉会

以上